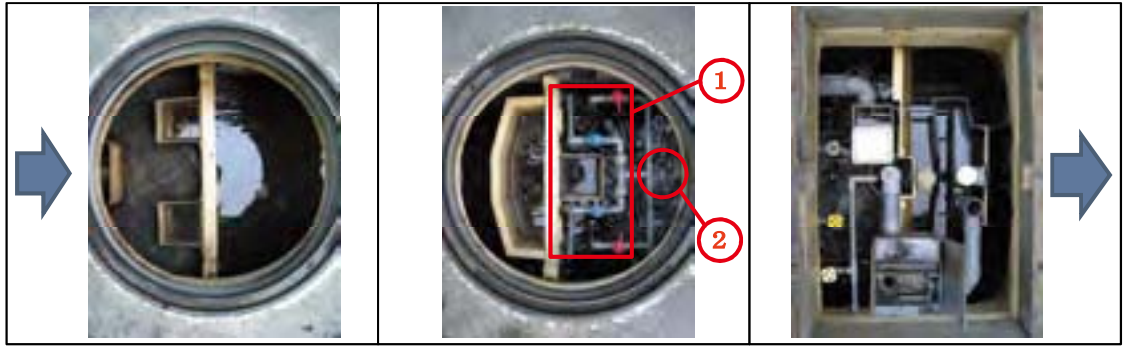


性能評価型(事例16) 攪拌調整を繰り返し変更した事による水質改善事例

【槽内状況】



維持管理要領書より 7人槽 循環水量3Q (1.6ℓ/分)

事例番号	16		浄化槽メーカー	フジクリーン工業㈱		
処理方式	性能評価型 窒素除去型		浄化槽型式	RX		
法定検査日	平成 24 年 9 月 4 日		人槽	7人槽	使用人員	4人
測定項目	1次処理 1室	1次処理 2室	2次処理	処理水槽/沈殿槽	放流水	
スカム厚(cm)	6	0	—	0	透視度	21 度
堆積汚泥厚(cm)	11	12	2	3	DO	1.7 mg/ℓ
透視度(度)	12	16	19		pH	7.6

法定検査からの 状況連絡・指示内容	槽内状況	2次処理槽内水が茶褐色で濃い。 DOが低下している。(空気逃がしバルブ全閉から1回転、開いている) 循環水量:1.8ℓ/分 日平均汚水量 0.77m ³ /日 採水時間:13:30				
	対策	攪拌水流が弱い為、空気逃がしバルブを全閉にする。				
保守点検からの措置 返信内容	9月7日	上記の通り調整する。			透視度	19 度
					DO	1.6 mg/ℓ
					pH	7.6
	9月21日	DOが回復する。 再度、空気逃がし調整を行う(全閉から1/2回転開ける)			透視度	22 度
				DO	5.4 mg/ℓ	
				pH	7.5	
10月5日	透視度が回復しない為、常時逆洗運転に切替える。			透視度	20 度	
				DO	4.1 mg/ℓ	
				pH	7.6	
10月19日	透視度が回復する。 次回保守点検まで、通常運転に戻す。 空気逃がしバルブは全閉で調整中。			透視度	34 度	
				DO	5.2 mg/ℓ	
				pH	7.4	

【ポイント】



2次処理槽の攪拌状況
攪拌水流が弱い。

手動逆洗10分後の剥離汚泥の状況
茶褐色で濃く少ない(ばっ気不足)